

新提案の”ケアホテル” 型破りなショートステイ誕生!

早稲田イーライフ福岡ドーム南ショートステイ(福岡市中央区)

7月に開設したばかりの「早稲田イーライフ福岡ドーム南」の施設長 兼介護支援専門員(ケアマネジャー)の瀬尾さんにお話を伺いました。

編集部員(以下編)

そもそも、ショートステイ(短期入所生活介護)とは何ですか?

瀬尾さん(以下瀬)

簡単に言うと、要介護・要支援状態の方が一時的に(1日〜最大連続30日間)滞在して頂けるサービスです。その中で、日常生活上のケアや機能訓練などの介護サービスを提供することが可能です。介護保険サービスにある「居宅系サービス」のひとつで、短期間宿泊してご家族の介護負担を軽減し、在宅介護を長続きさせるといった重要な役割を持っています。

お話を聞きした人



早稲田イーライフ福岡ドーム南施設長/介護支援専門員 瀬尾 幸太郎さん

編: 従来は特別養護老人ホーム(以下、特養)に併設されることが多かったそうですね。

瀬: 国内では90%超が特養併設型のショートステイであり、単独型のショートステイはまだ珍しいのではないのでしょうか。そもそもショートステイ開設には特養と同等の施設人員基準をクリアする必要があって、ある意味チャレンジなのですが、工夫して、ひと手間かけて、従来のショートステイでは出来なかつたきめ細やかなサービスを心がけています。

編: 具体的には、どのような違いがありますか?

瀬: ほんの一例ですが、理学療法士や言語聴覚士の下で機能訓練を重視したり、看護師を24時間365日配置したり、土日祝日早朝夜間帯の送

迎を可能にしたりなど、これまでのショートステイでは難しかったサービスを可能にしました。当ショートステイでは全個室37床4ユニット、8人から10人単位でのユニットケアを基本とし、目配りと気配りを徹底しています。夜間帯も、基準の2倍以上の職員配置をしています。

編: その分家庭的なあたたかいサービスも提供できるわけですね。

瀬: また、今までのショートステイは提供ベッド数が限られていたり、とにかく予約がとりにくかったり、事前審査で時間がかかって断られたりなど、私を含め多くのケアマネジャーが経験してきたことだと思います。そして時には、家族の方から「ショートステイで体力や筋力が落ちて帰ってきた」と言われたり、「食

編: 最後に今後の抱負をお願いします。

瀬: ソフト面では「流ホテルの」おもてなしを、ハード面では高級ビジネスホテルの「使い勝手」を、「泊れる」「通える」「相談できる」という同一建物内に3つの機能を駆使して、従来型ショートステイの常識を打ち破る、ワン&オンリーなサービスを目指します!



▲24時間365日看護師が常駐(インスリン注射や胃ろう、たんの吸引やストーマ等の処置も可能)

明るく広い充実した施設内は語らいとふれあいの場



スプリンクラーやエレベーターなどの設備はもちろん、理学療法士、言語聴覚士、看護師、ケアマネジャー、管理栄養士など様々な専門スタッフが常駐し、24時間365日体制の見守りとケアを行います。



▲「おもてなし」は送迎から。プライバシー面でも好評なロゴのないクラウンセダンを7台準備。(車いすスロープ対応車も別途あり)



▲滞在中も筋力の維持向上をサポート。「早稲田大学エルダリーヘルス研究所」によるプログラムを実践

取材協力

早稲田イーライフ福岡ドーム南 ショートステイ(単独ユニット型個室37床)

住所: 福岡市中央区地行2丁目13-16

提供サービス 併設サービスを含む

ショートステイ
(短期入所生活介護)

デイサービス
(機能訓練重視短時間通所介護)

ケアプラン
(居宅介護支援事業所)

- ケアマネ資格を持った経験豊富な相談員が対応いたします。
- 減額認定の第2段階・第3段階の方もご利用頂けます。
- 福岡市全域・福岡市近郊送迎可能(市外は別途送迎実費を承ります)
- 詳しくはHPをご覧ください! → <http://www.waseda-elife.com>

随時予約問合せ受付中!

お問合せ ショートステイ直通

TEL: 092-737-1212



事や入浴以外ほとんど何も提供されることなく、認知症状が進んだ」とまで言われたこともありました。さらにはロングステイや定期利用の方で、「いつも満床だ」というイメージがありました。私たちのショートステイでは、「ご利用者様・ご家族様・ケアマネジャー様などの使い勝手を最大限優先し、基本的に申し込み順で予約利用できるようにいたしました。30日連続利用など



<写真左>取材時はちょうど食事前の軽い体操の時間。強制的なものではなく、あくまでご本人の自発性を尊重。
<写真中央・右>絵画や楽器が置かれた楽しい雰囲気のエントランスと窓が大きく明るい居室



<写真左&上>早稲田大学が研究・開発した運動療法『スリングロープ(つりひも)プログラム』は、体への負担も少なく「遊具みたいで楽しい」と、ご利用者にも好評。作業療法士の小牧千恵さん(写真)の目標は「来所時より運動機能を向上しての帰宅」です!



<写真左> ケアサービス部門のスタッフ/前列右から時計回りに: 福田厚子さん(看護師) 小牧千恵さん(作業療法士) 瀬尾幸太郎さん(ユニットリーダー) 北原望さん(介護士) 山口耕平さん(言語聴覚士)



<写真右> 生活相談・総務部門のスタッフ/前列右から時計回りに: 松田稔彦さん(社会福祉主事) 瀬尾幸太郎さん(介護支援専門員) 塩塚大志さん(社会福祉主事) 中谷淳さん(技術専門職員) 岡野奈映さん(生活相談員看護師) 都野川京子さん(介護支援専門員)

再訪!

「機能訓練」と「おもてなし」 短期入所生活介護

早稲田イーライフ 福岡ドーム南 ショートステイ (福岡市中央区)

型破りなショートステイとして15号で取り上げた、新提案のケアホテル。開設して10ヵ月、今ではご利用者やご家族はもとより、地域のケアマネジャーの間でも話題だとか。その人氣の秘密について再度探ってみました!



私たちのショートステイでは、24時間看護師が常駐していますので、初期の肺炎などの異変をすぐに見つけて医療につなげられています。当施設ならではの特質だと思います。このような異変時、ご利用者・ご家族・ケアマネジャーの三者間の調整を、円滑に行うことが私たちの仕事です。また年々毎日2回実施している機能訓練は、とてもおすすめです!

施設長代理
理学療法士兼介護支援専門員
(ケアマネジャー)

いしばし ひさこ
石橋 寿子さん

スタッフ直撃
インタビュー

言語聴覚士
やまぐち こうへい
山口 耕平さん

私の仕事は口腔ケアの啓発と嚥下障害の評価が中心です。ご利用者様は高齢ということもあり、嚥下障害はほぼ皆さんリスクのある方ばかりですので、食事の見守りを欠かさず、何かあれば医療につなぐ、またなるべく症状が進行しないようご本人やご家族への生活アドバイスも行っています。



インタビューからひとこと

取材中、お誕生日を迎えられたご利用者へサプライズの花束プレゼントが!にぎやかな拍手とともに、とびきりの笑顔がはじけます。「介護はサービス業」と言い切る瀬尾施設長。実はこうしたお誕生日サプライズはこの名物なのだとか。スタッフからの寄せ書き入り記念写真は、開業以来からのもう一つのサプライズプレゼント。なんと7個以上ご自宅に飾っている方もいらっしゃるとか。働く皆さん、ご利用者の明るい表情がとても印象的でした。



取材協力

早稲田イーライフ福岡ドーム南 ショートステイ (単独ユニット型個室37床)
住所: 福岡市中央区地行2丁目13-16

提供サービス 併設サービスを含む

ショートステイ (短期入所生活介護)	デイサービス (機能訓練重視短時間通所介護)	ケアプラン (居宅介護支援事業所)
-----------------------	---------------------------	----------------------

- ケアマネ資格を持った経験豊富な相談員が対応いたします。
- 減額認定の第1段階～第3段階の方もご利用頂けます。
- 福岡市全域・福岡市近郊送迎可能(市外は別途送迎実費を承ります)
- 詳しくはHPをご覧ください! → <http://www.waseda-elife.com>

随時予約問合せ受付中!

お問合せ ショートステイ直通
TEL: 092-737-1212



開業10ヵ月、日々手ごたえ実感中!

～ 施設長兼介護支援専門員 瀬尾さんを直撃! ～

Q&A



せお こうたろう
瀬尾 幸太郎さん

- Q1 オープン後、どのような方が利用されていますか?
A: 要介護度で言うと1～3、年代は80代の方が中心です。それと意外なのは、男性の利用率が高いことです。認知症の方も、積極的に受け入れをしています。
- Q2 たしかに、男女問わず皆さん笑顔のご利用者が多いと感じます。
A: 認知症の有無や程度によって過ごす場所(ユニット)も接し方も分け、ご利用者同士親しく会話が弾むようにサポートしています。レクリエーションや機能訓練も盛りだくさんなので、あつという間の楽しい1日をお過ごし頂けると思います。

- Q2 Q1について、なぜだと思われますか?
A: 他施設様では絶対にやっていないことを実践した成果でしょうか。具体的には、来て頂いてからの楽しみですね! 楽しみに通ってくださる方が増えましたし、来所することでご家族から「穏やかになった」と驚かれた経験も…嬉しかったですね。
- Q4 他には、どんなお声が?
A: 「24時間面会OKなので、仕事帰りが深夜になっても母の顔を見に立ち寄れて安心できた!」とか「家庭的でのびのびしていますね」とか。ご利用者、ご家族、ケアマネジャーの立場で使いやすいサービスを目指すことが、「おもてなし」の根幹だと思います。おかげさまで土日祝日はほぼ予約で埋まってしまうので、今後は平日限定の楽しい企画も考えています。